



《バレンシア特集》

火祭りやパエーヤだけがクローズアップされがちなバレンシアですが、それだけではありません。ここでは、バレンシア市とその周辺の町独特の魅力についてご紹介します。

バレンシア旧市街

●大聖堂

スペインのどの町にもある大聖堂ですが、バレンシアの大聖堂にはキリストとその使徒の最後の晩餐で使われたと最有力視されている『聖杯』が奉納されているのをご存知ですか？大聖堂内の聖杯礼拝堂に収められていますので、必見です。

【料金】4.5ユーロ／日本語のオーディオガイドあり

【開館時間】3月20日～10月31日

月～土：10時～18時30分／日祝：14時～18時30分

11月1日～3月19日

月～土：10時～17時30分／日祝：10時～14時、17時～17時30分



最後の晩餐の聖杯

●世界遺産 ラ・ロンハ

15世紀、バレンシアは地中海貿易の中継地として繁栄しました。現在世界遺産に登録されているラ・ロンハは絹製品の取引所として使用された建物で、高さ17mにも及ぶ螺旋状の柱の数々が生み出す空間に圧倒されます。透かし彫りの飾り窓や壁面の装飾も非常に美しいゴシック様式の傑作です。

【開館時間】

月曜日：10時～15時（7～9月のみ）／火～土：10時～14時、16時30分～20時30分／日祝：10時～15時

※入場無料

●水利裁判

毎週木曜日の正午、大聖堂の使徒の扉前で1000年前から行われている口頭裁判。バレンシア平野に水を供給する7つの用水路の管理者が集まり、実際に灌漑に関する訴訟解決を今でも行っています。

【問い合わせ】TURIART URL: www.turiart.com ※ガイド付見学を希望する場合は前日までに要予約

●モデルニスモ建築

モデルニスモ様式といえばバルセロナが有名ですが、バレンシアでもブルジョア階級の台頭によって20世紀初期にモデルニスモ建築のブームが起こりました。バレンシアのモデルニスモ様式の特徴は、バロック様式の名残りが感じられ、幾何学模様を多用し秩序があること、そしてクラシック様式を取り入れていることから、バルセロナのそれよりも控えめなエレガンスを感じさせます。



コロソ市場

【ルテ駅】旧市外の南端にある RENFE 駅。バレンシア・モデルニスモの傑作。（1906-1907）

【コロソ市場】市場の一面には昔ながらの市場を思い起こさせるオープンスペースがある。陶器や服飾店、カフェテリア、レストランもある。（1914-1916）

【中央市場】ヨーロッパ最大級の市場の一つ。約1,000店が立ち並び活気に溢れている。月～土8時～15時、日曜休。（1916-1928）



●ドス・アグアス公爵邸

15世紀に建造、1740年に修復されたアラバスター石の正面玄関のバロック様式の彫刻に目を奪われます。現在は陶器博物館として使用されており、様々な陶器とタイルのコレクションが展示されています。

【開館時間】火～土曜：10時～14時、4時～8時／日祝：10時～14時

※月曜休館

【入館料】2.4ユーロ(18歳以下、65歳以上は無料)

※土曜の午後と日曜は無料



ドス・アグアス公爵邸正面玄関

芸術科学都市 www.cac.es

旧市街から南東約2キロ海辺へと向かうと、スペインが誇る建築家、サンティアゴ・カラトラバとフェリクス・カンデラ設計の前衛的な建物で構成された一画、『芸術科学都市』があります。建物は白や青を基調とした流線型のフォルムでバレンシアの陽光に美しく映え、気持ちの良い空間を作り出している複合娯楽施設です。



芸術科学都市 ©バレンシア観光局

●レミステリック(L' Hemiseric)

プラネタリウムや3Dデジタル映画館、IMAX シアターなど最新技術を駆使した娯楽が体験できる。

●科学博物館(Museu de les Ciències)

科学の世界と最新鋭テクノロジーに関連したテーマ別の常設展と毎回発見がいっぱいの企画展から成る。

●芸術館(Palau de les Arts)

白鳥のようなシルエットが印象的な歌劇場。オペラをはじめ充実したコンサートプログラムが組まれている。

●水族館(Oceanogràfic)

500種45,000匹以上の海洋生物が観察できる。館内には回遊する魚たちを横目に食事ができるレストランも。

●遊歩道ルンブラレ(L' Umbracle)

全長320m、幅80mの遊歩道の下は駐車場として使用される。遊歩道にはパブリックアートが立ち並び、期間によってはテーマ別の展示も行われる野外アートスペースとなっている。

●アゴラ(Agora)

芸術科学都市に建てられた最新の施設。スポーツやファッションショー、コンサートなど、多岐にわたるイベントスペースとして活用されている。

バレンシアへのアクセス

ヨーロッパ主要都市から直行便が運行。スペインの主要都市から列車利用の場合、マドリッドからスペイン国鉄 AVE で約1時間30分。バルセロナからユーロメッドで約3時間。



バレンシア近郊の日帰り旅行スポット

●エル・プッチ(El Puig)

バレンシアから北に約15キロ。サンタ・マリア・デ・プッチ修道院が見どころの小さな町です。バレンシアの守護聖母であるエル・プッチの聖像が奉納されていることで有名です。伝説によると、メルセス会創設者の聖ペドロ・ノラスコが、丘の上に連なる7つの星に導かれ、この聖母像を発見したと言われています。そして1238年バレンシアがキリスト教徒の手に戻るまで修道院の鐘の下に隠されていました。愛しい子を右ひざの上に抱きかかえながら、あたかもキスをするかのように顔を傾けている聖母の様子が母性愛の象徴として、今もなお多くの人々の心を惹きつけています。



サンタ・マリア・デ・プッチ修道院

【開館時間】火曜～土曜 10、11、12、16、17時

【閉館日】日・月・祝日

【入館料】4ユーロ ※団体は最大35人まで、事前予約が必要。

【アクセス】バレンシア市内ノルテ駅からセルカニア(近郊線)C6でEl Puig 駅下車。所要時間約25分。

●サグントの古城とローマ遺跡(Sagunto)

サグントの市街地を一望できる町の丘には、8,000人を収容する半円形のローマ劇場観客席跡があります。この観客席の石の多くは古城建設のために使われてしまったため、ほとんど原型が残っていませんでしたが、最近大規模な修復により復元されました。1kmにも渡る壮大な古城の麓には13kmに及ぶ長い海岸線と美しいビーチが連なります。また、遺跡・古城とも国の重要文化財に指定されています。

【開館時間】 6月1日～9月30日:火～土曜 10時～20時 / 日祝 10時～14時

10月1日～5月31日:火～土曜 10時～18時 / 日祝 10時～14時

【閉館日】月曜、元旦、7月30日、12月25日

【アクセス】バレンシア市内ノルテ駅からセルカニア(近郊線)C6でSagunt 駅下車。所要時間約30分。

●アブフェラ湖(La Albufera)

バレンシア市から約15km南下すると直径6kmの壮大な淡水湖、アルブフェラ湖があります。あるアラブの詩人は、この湖の中央に夕陽が反射する様子の美しさを「太陽の鏡」と詠ったそうです。13の町にまたがる周辺は自然公園に指定されています。その町の一つ、エル・パルマル(El Palmar)の村からは遊覧船が出ています。自然公園内をサイクリングするのも楽しいです。

【アクセス】バレンシア市内からアルブフェラ湖行きの日帰り観光バスを利用すると便利。



夕暮れのアルブフェラ湖

便利な観光情報

●バレンシア・カード www.valenciatouristcard.com

市内交通機関が無料、提携する美術館、博物館、レストランは割引となる。

【料金】24時間(12ユーロ)、48時間(18ユーロ)、72時間(22ユーロ)

●バレンシア市内循環観光バス www.valenciabusturistic.com

バレンシア旧市街と沿岸部の観光名所を巡るルートに加え、近郊アルブフェラ湖への日帰りの3ルートがある。

【料金】・バレンシア市内ルート 24時間(15ユーロ)、48時間(18ユーロ) / アルブフェラルート(15ユーロ)



バレンシアに行ったら食べたい郷土料理と飲み物

●スペインの米所

バレンシアはスペインの米所。スペインを代表する米料理パエーヤを筆頭に、バラエティーに富んだ米料理が愉しめます。おかゆのように柔らかいもの、リゾット仕立て、オープン焼きなど調理法もいろいろ。その中でも、魚介類から取った煮汁で炊いた米と具を別々に調理して食すアロス・ア・バンダはまさに地中海の恵みの味！

●バレンシアのワイン

地場品種のメルセゲラ、マルバシアから作ったフレッシュな辛口白ワインは魚料理にぴったりです。また、マスカット風味の甘口ワイン、モスカテルも食後酒に是非お試しください。バレンシア市から内陸に向かって西約50kmほど進むと、ワイン産地ウティエル、レケーナの町があります。この地方ではカバ(スパークリングワイン)も生産されています。バレンシア特産のオレンジを絞ったジュースをカバで割ると、簡単なカクテル「アグア・デ・バレンシア」(バレンシアの水)の出来上がりです。



アロス・ア・バンダ

●オルチャータ

カヤツリ草の根から作るオルチャータは甘くさわやかな口当たりになじり苦味を感じる独特のドリンク。夏にはスペイン中で飲まれるほどの人気です。

2012年ジャパンウィーク® 開催地に決定！

公益財団法人・国際親善協会による「ジャパンウィーク®」の2012年開催地がスペインのバレンシア市に決定しました！ 来年11月24日～29日の間、バレンシアは日本一色に染まり、数多くの関係者が訪れることとなるでしょう。

《バレンシア・火祭りキャンペーン》



スペイン政府観光局・バレンシア市観光局、エールフランス航空・KLM オランダ航空は、バレンシア・火祭りオンラインキャンペーンを9月30日にスタートします。今年で第3回目となる同キャンペーンでは、オンライン上で、応募者自身の顔写真を使った二ノット(張子人形)を作り、投票数獲得上位5位の中から選ばれた1組2名様に、2012年3月の火祭りの旅をプレゼント！ 応募・詳細はキャンペーンサイトへ！ www.visitvalencia.jp

《「プラド美術館所蔵 ゴヤ～光と影」開催記念キャンペーン》



10月22日より東京・上野の国立西洋美術館で開催されるゴヤ展を記念して、スペイン政府観光局とエールフランス航空・KLM オランダ航空は、マドリッド市観光局の協力により、スペイン・マドリッドへの旅を1組2名様、「ゴヤ～光と影」展ご招待券を20組40名様にプレゼントするオンラインキャンペーンを実施します。応募はキャンペーン専用サイトにて！ www.goya-prado.com



《マドリッド最新情報》

●新しかったマドリッド市内循環観光バス www.madridcitytour.es

マドリッド市内循環観光バス『マドリッド・シティ・ツアー』がリニューアル。オーディオガイドは6言語から14言語に(日本語もあり)。マドリッド・リオヤ闘牛場など通常のルートより見学ポイントが多い便が1日2回運行。

- 料金: 1日券20ユーロ、2日券24ユーロ
- 運行時間: 3月～10月/9時～22時、11月～2月/10時～18時 (いずれも8～15分毎に運行)

●9月22日、マドリッド空港T4にスペイン国鉄(RENFE)近郊線が開通

バラハス空港 T4⇄アトーチャ駅は所要時間26分、チャマルティン駅間は12分と大変便利になりました。近郊線 C1 番線で約30分毎に運行。 www.renfe.com

《バルセロナ最新情報》

●スマートフォンでバルセロナのデザインを極める

BCN Design Tour は、スマートフォン向け無料アプリを開発しました。バルセロナならではのデザインを発見できる、バル、市場、レストラン、ホテル、書店など約250箇所を紹介しています。9月に始まったこのサービスは既にダウンロード数7000を超えています。iPhone、Android よりダウンロード可能。将来的には Black Berry からも。

www.bcd.es/ca/rutadissey.asp

●バルセロナで地中海料理に挑戦!

クッキングスクール“Espai Boisà”では、地元で採れた旬のオーガニック素材を使った地中海料理のワークショップを行っています。メニューは、パエーヤ、ガスパチョ、スペイン風オムレツ、創作タパス。デザートはカタルーニャ名物クレマ・カタラナです。施設内にはワインのテイスティング・ルームもあり、お料理と一緒にワインやカバも楽しめるようになっています。

【開催日】月・金12時～14時、水・土18時～20時

【言語】スペイン語、英語

※詳細・問い合わせは下記、またはバルセロナ観光局ウェブサイトにて。 www.barcelonaturisme.com

“Espai Boisà” 住所: Passatge Lluís Pellicer, 8 / Tel: +34 669 296 024 / E-mail: espaiboisa@espaiboisa.com

《リゾート系パラドールでゴルフ》

<http://golfbooking.parador.es/index.asp>

地中海に面した2つのパラドール敷地内の憧れのゴルフコースで、この秋優雅にゴルフを楽しんでみてはいかがでしょうか?

●Parador El Saler(エル・サレール)

バレンシア市内より南へ約18km。18ホールのゴルフコースは、プロ・アマ交えて行われたアンケートで世界のベスト60にランクイン、ヨーロッパでは3位に輝いた、ゴルフ愛好家なら一度はプレーしてみたいコース。

●Málaga Golf(マラガ・ゴルフ)

マラガ市内より10km。18ホールのコース、ゴルフ・スクール、パッティング・グリーン、アプローチ・グリーンなど充実のゴルフ設備。コースを横切れば目の前はビーチが広がるリゾートホテル。またコスタ・デル・ソル巡りの起点としても好立地です。